

令和4年度 鹿屋市市政モニター 第5回アンケート集計

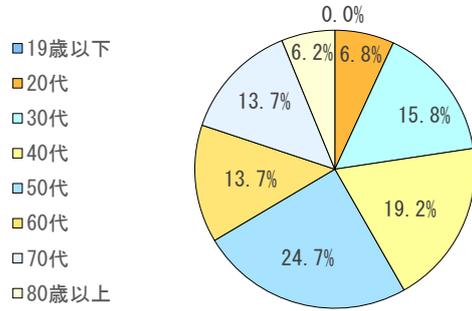
○テーマ：「鹿屋市の文化財」について

○集計期間：令和4年10月7日（金）～令和4年10月21日（金）

○回収結果：送付数 200人、回答数 147人、回答率 73.5%

問1 あなたの年齢をお答えください。

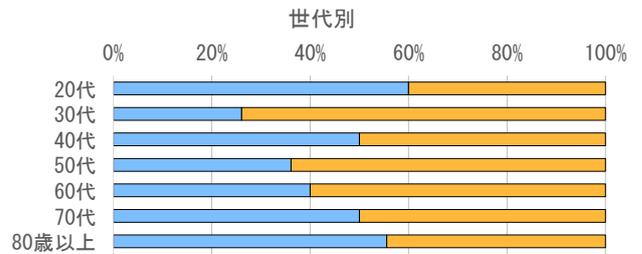
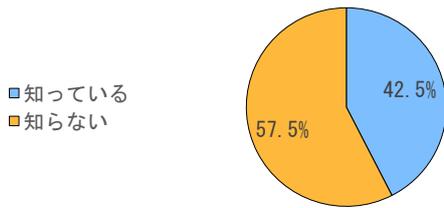
回答	件数	割合
19歳以下	0	0.0%
20代	10	6.8%
30代	23	15.8%
40代	28	19.2%
50代	36	24.7%
60代	20	13.7%
70代	20	13.7%
80歳以上	9	6.2%
合計	146	100.0%



問2 鹿屋市にある3つの資料館を知っていますか。

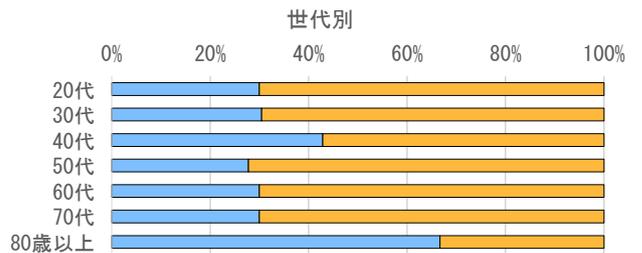
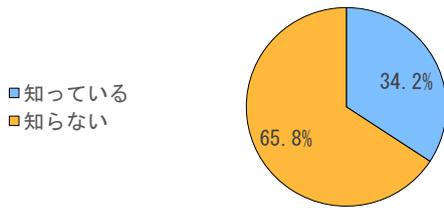
(1) 王子遺跡資料館

回答	件数	割合
知っている	62	42.5%
知らない	84	57.5%
合計	146	100.0%



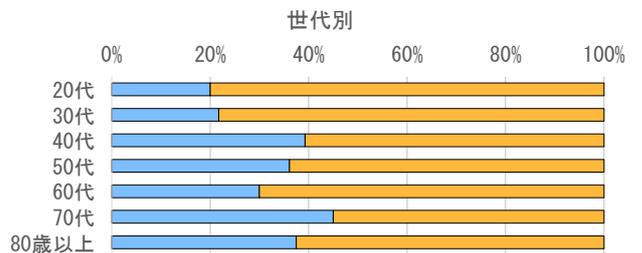
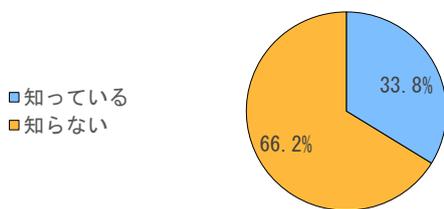
(2) 輝北歴史民俗資料館

回答	件数	割合
知っている	50	34.2%
知らない	96	65.8%
合計	146	100.0%



(3) 串良歴史民俗資料室

回答	件数	割合
知っている	49	33.8%
知らない	96	66.2%
合計	145	100.0%

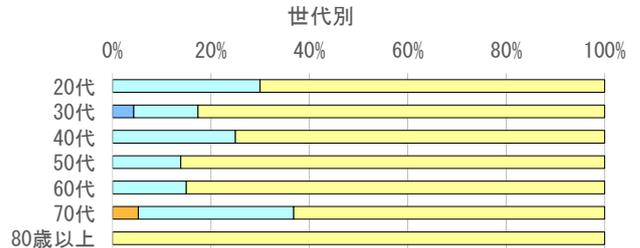
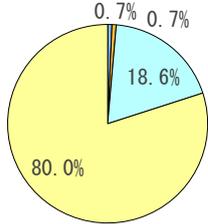


問3 3つの資料館を利用したことがありますか。

(1) 王子遺跡資料館

回答	件数	割合
年間3回以上利用する	1	0.7%
年間1・2回程度利用する	1	0.7%
1回は利用したことがある	27	18.6%
利用したことがない	116	80.0%
合計	145	100.0%

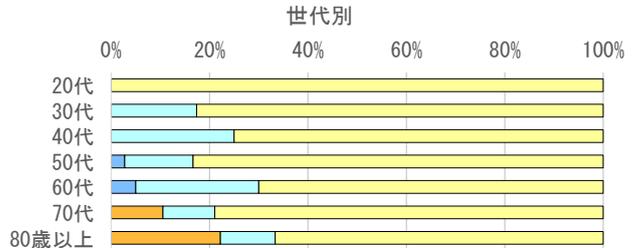
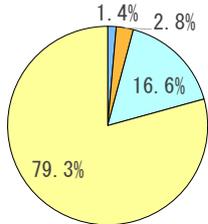
- 年間3回以上利用する
- 年間1・2回程度利用する
- 1回は利用したことがある
- 利用したことがない



(2) 輝北歴史民俗資料館

回答	件数	割合
年間3回以上利用する	2	1.4%
年間1・2回程度利用する	4	2.8%
1回は利用したことがある	24	16.6%
利用したことがない	115	79.3%
合計	145	100.0%

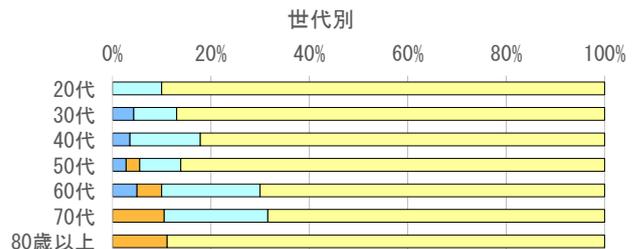
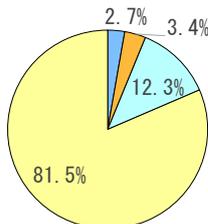
- 年間3回以上利用する
- 年間1・2回程度利用する
- 1回は利用したことがある
- 利用したことがない



(3) 串良歴史民俗資料室

回答	件数	割合
年間3回以上利用する	4	2.7%
年間1・2回程度利用する	5	3.4%
1回は利用したことがある	18	12.3%
利用したことがない	119	81.5%
合計	146	100.0%

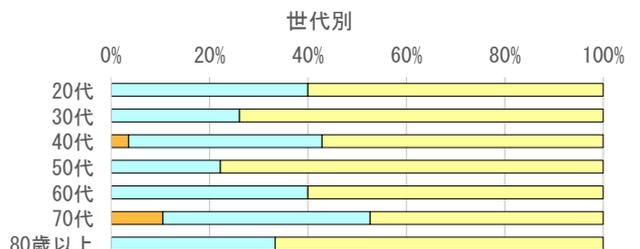
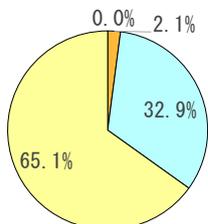
- 年間3回以上利用する
- 年間1・2回程度利用する
- 1回は利用したことがある
- 利用したことがない



問4 鹿屋市内外を問わず、歴史や文化財に関する資料館や博物館をどれぐらい利用しますか。

回答	件数	割合
年間10回以上	0	0.0%
年間5～10回程度	3	2.1%
年間1～5回程度	48	32.9%
全く利用しない	95	65.1%
合計	146	100.0%

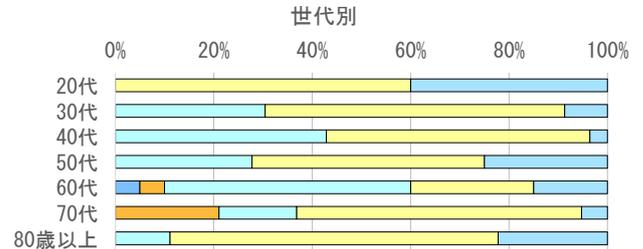
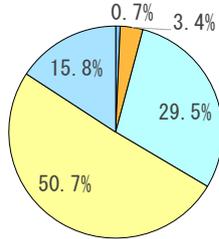
- 年間10回以上
- 年間5～10回程度
- 年間1～5回程度
- 全く利用しない



問5 鹿屋市の県・市指定文化財を紹介している「かのや歴史探訪」リーフレットについて知っていますか。

回答	件数	割合
知っていて、よく利用する	1	0.7%
知っていて、たまに利用する	5	3.4%
知っているが、持っていない	43	29.5%
知らないが、ほしいと思う	74	50.7%
知らないし、必要だと思わない	23	15.8%
合計	146	100.0%

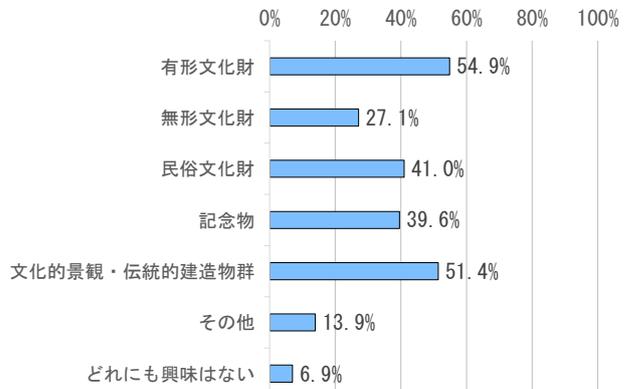
- 知っていて、よく利用する
- 知っていて、たまに利用する
- 知っているが、持っていない
- 知らないが、ほしいと思う
- 知らないし、必要だと思わない



問6 どのような文化財に興味がありますか。（複数回答有）

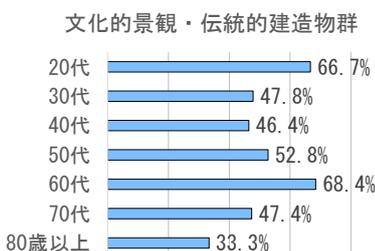
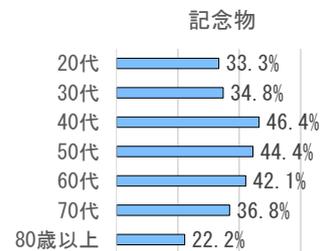
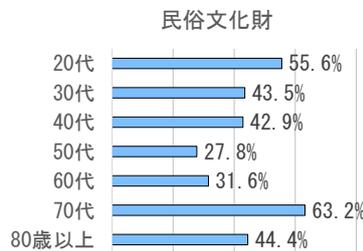
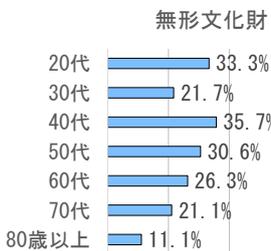
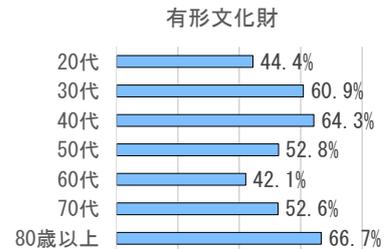
回答	件数	割合
有形文化財 (例：建造物、絵画、古文書、土器など)	79	54.9%
無形文化財 (例：歌舞伎、雅楽、伝統工芸の技術など)	39	27.1%
民俗文化財 (例：田の神像、地域の祭りや踊りなど)	59	41.0%
記念物 (例：遺跡、名勝地、動植物、鉱物など)	57	39.6%
文化的景観・伝統的建造物群 (例：棚田、武家屋敷群など)	74	51.4%
その他 (例：戦争時代の歴史、海外の歴史など)	20	13.9%
どれも興味はない	10	6.9%

回答者数 144



その他の具体的な回答

- ・戦争時代の歴史は残さなくてはならないと思う。
- ・戦争遺跡
- ・戦争時代の歴史



問7 文化財に関することについてご要望やご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

資料館について

- ・自衛隊にある資料館は知っていましたが、他にも鹿屋市に資料館があることは知りませんでした。
- ・輝北にあるのは知りませんでした。友人を誘って是非行きたいと思っています。

文化財について

- ・場所が分かりにくい
- ・文化財についての案内板か、戦時中の遺跡に関する案内板は良く目にするが、現地でさがせない市が多い。（高須のトーチカ、西郷さん）とか。
- ・文化財が何処にあるかわからないのでよそから観光に来た時わかる案内が必用特にインターネット等で。
- ・数年前に市外から転入してきました。勉強不足なだけかもしれませんが、鹿屋市の文化財がどのような内容なのかよく分かりません。子ども達と一緒に興味を持って文化財を見て回ったりできるよう、スタンプラリーや分かりやすいMAPなど、目につく所に配布があれば良いと思います。
- ・文化財に興味がないのですみません。
- ・文化財等、1～2回見れば、いいかなという感じ。団体で行く事はあっても、個人的には、行かないかな。
- ・必要なものですので、ぜひ見たい、知りたい、学びたいと思いますが、情報入手がほとんどない（実際はあるのかも…）ため、無関心になってしまっています。

普及啓発活動について

- ・子ども向けに、日よう日にイベントなど開催し、その中で、体験コーナーを複数作ったり、フードトラックやハンドメイドなどを呼び、家族で楽しみながら、学び、知る場所をつくれば楽しいと思う。
- ・鹿屋の文化財を大々的にPRして盛り上げてほしい。子どもたちに”ふるさとのよさ”を感じさせてほしい。
- ・子供の頃、よく資料館で興味を持って色々みていたような気がします。何故、そこに行ったかは憶えていません。何かしらのきっかけは大事なのかなと思います。
- ・もっとPRしても良いと思う。鹿屋だけでなく大隅として盛り上げていけたら。
- ・今のところ、鹿屋に文化財のイメージがないのも何かあるのなら、もっと広めるといいと思う。
- ・里帰り中に近くの田の神像や神社（鳥居）を見に散歩に行きました。道中など含め、素敵な写真も撮れたので、SNSなどでそういった写真をあげると若い世代にも認知が広がるかと思いました。
- ・市の文化財を題材にしたクイズ大会など実施したらおもしろそうです。問題集はあらかじめ配布しておくなど。
- ・輝北・串良に民俗資料館があることを知らなかったので、広報等で定期的に案内があれば、お子さんが小学生のご家族の利用が増えるのではないかと思います。
- ・発掘調査の体験などあれば参加してみたい。

その他

- ・全く別な文化財で祓川町：肝付川に架かる石造りアーチ橋明治37年～117年建造された昭和63年鹿屋市文化財に指定されている大園橋を2年前水害があり鹿屋市では撤去解体の方針、大隅史談会は保存陳情を鹿屋市と議会へ何度も訴えていると南九州新聞へ4～5回載っている、2連アーチの眼鏡橋だ。水害の原因はこの橋の外に色々問題ありも書いてある。この文化財を残してほしい。
- ・祓川の大園橋…移設とかで、何とか残してほしいです。（災害等を考えると仕方ない事だとはわかるのですが）
- ・校区公民館役員研修・民生委員研修等で地方へいった時、知覧に行った事がありますが、何十年も前の事で良くわかりません。
- ・鹿屋は、第二次世界大戦において、重要な役割を果たしました。そのことを正確に伝える場所、人、機会の充実も必要なことかと思いません。
- ・近くに集える民間のスペースがあれば。高齢者カフェとか。

分析速報

王子遺跡資料館

知名度は全体で約40%で、20代では60%と平均を大きく上回る結果となった。出前授業等で遺跡の紹介や資料館の案内を行っているため、それがきっかけになったと考えられる。30代がやや低い、40代以上は図書館を利用する世代、発掘調査や資料館開館当時を知っている世代であるため、やや高い数値になったのではないと思われる。

1回以上利用したことがある人は全体で20%であった。ほとんどが1回しか利用したことがない人で、リピーターは30代と70代に1名ずつしかいなかった。また、80歳以上では資料館を知っている人は多かったのに、訪れたことがある人はいなかった。

輝北歴史民俗資料館

知名度は全体で約35%で、40代と80歳以上で高い数値となっている。実際に民具を使っていた世代に当たる80歳以上の人の認知度が高い結果となった。

1回以上利用したことがある人は全体で約20%であった。50代以上にリピーターが6名いるが、20代には利用したことがある人はいなかった。実際に民具を使っていた世代や、実家にあつて実物を見たことのある世代には利用されているが、若い世代にはあまり認知されていないのが現状である。

串良歴史民俗資料室

知名度は全体で約35%で、40代と70代でやや多い結果となった。出前講座やバスツアー等で見学したり、串良ふれあいセンターを利用した際に通りがかったりして知るのではないかと考えられる。20代と30代にはあまり知られていないことが分かった。

1回以上利用したことがある人は全体で約20%であった。すべての年代が1回は利用しており、30代以上にリピーターが9名いる。

博物館等の利用

市内外を問わず、35%の人が歴史系の博物館等を年間1回以上は利用している。20代、40代、60代、70代で特に高く、幅広い世代が歴史系博物館に足を運んでいることが分かる。鹿屋市内の3館の年間1回以上利用する人は約2～6%であることから、市外の博物館には、展示内容や周辺施設など行ってみたい要素が多いのではないかとと思われる。

かのや歴史探訪リーフレット

実際に活用している人は約4%であった。30代から60代では、存在は知っているが手に取らない人が多い傾向にある。しかし、存在を知らないがほしいと思う人は約50%と多いため、手に取りやすい設置場所やデザインを検討する必要がある。

文化財への興味関心

有形文化財や文化的景観・伝統的建造物群など、具体的な形のあるものに興味関心が高い傾向が見られた。建造物や風景など、写真映えするような文化財が人気であると考えられる。

また、20代から40代の民俗文化財への興味関心が高いことも分かった。民俗芸能の担い手の高齢化が課題となってきた中、若い世代が興味関心を寄せていることが分かったので、積極的なPRで伝統の継承につながるのではないかとと思われる。

その他の欄や自由欄には、幅広い世代から戦争時代の歴史の継承の重要性についての言葉が寄せられた。

自由欄

鹿屋市の文化財や資料館について知らない人が多くいることが分かった。ホームページから見ることでできるデジタルマップもあるが、認知度はとても低いようである。また、広報・SNSを活用した情報発信や、休日の体験イベント開催などを望む声が見られた。先日行われた「文化ゾーンまるごとブックフェスタ」や「星のふるさと輝北まつり」では体験ブースを設置し、多くの参加があったところである。このような活動の機会や参加者を増やせるよう、イベント企画や情報発信方法について検討する必要がある。

市指定文化財「大園橋」の指定解除については文化財保護審議会で現在審議されており、撤去や移設はまだ確定していない状況である。新聞記事だけに頼らない、正しい情報発信方法が必要であると感じる。